

令和8年度 佐賀市立循誘小学校 教育課程

1 学校教育目標

豊かな心で支え合い、自分らしく夢の実現に向かう児童の育成

2 本年度の重点目標

○心の教育

・自分らしさを発揮できる基盤となる、多様な仲間のよさを認め合い、支え合う風土の充実

○授業力向上

・個別最適な学びの実現につながる、学びの楽しさが実感できる授業実践

3 重点取組内容

(1)学習指導の充実

・主体的・対話的で深い学びとなる授業づくりを目指し、一人一台端末を積極的に活用する。

・教材(学習材)と子どもをつなぐ工夫を取り入れた単元計画を構想する。

・城東校区4校からなる城東中校区地域教育推進プロジェクトで連携を図り、「家庭学習がんばろう週間」を、家族で取り組む家庭学習習慣作りとして定着させ、家庭全体が学習へ向かう雰囲気を作る。

・授業の復習、発展をねらい、一人一人の力に合わせた「自主学习」を奨励する。

・学習状況調査結果から見えた課題を克服するため、全学年で課題設定、振り返り等について話し合い、授業実践を積み重ねる。

・全校で「立腰」の仕方を確認し、落ち着いた中で授業を開始する。

・児童が発達段階に応じて選書ができるよう、魅力ある図書館作りを行う。

(2)生徒指導の充実

・基本的な学習・生活習慣作りとして「循誘っ子しぐさ(美しい立腰 あいさつ+1 靴そろえ 無言そうじ 増やそう! ぽかぽか言葉)」の徹底を目指す。

・児童に寄り添い、あたたかい人間関係を醸成する学校・学級づくりに努め、いじめ等の撲滅を図る。

・職員連絡会や子ども支援会議等を通して、職員間の連絡を密にし、児童理解を促進するとともに、問題行動の早期発見、早期対応に努める。

・休業日や長期休業日前に生徒指導担当者の講話、担任の指導を行い、非行・事故の防止に努める。

・毎月心のアンケートを実施し、いち早く児童の悩みを発見する。結果を継続的に記録し、児童の心の変化もつかむようにする。

・計画的な授業実践を通して、SNSについての知識を系統的に育み、家庭でのルール作成と順守を徹底させる。

(3)特別支援教育の充実

・連絡会・子ども支援会議等で全職員で細やかに連絡を取り合ったり、関係者によるケース会議を適切な時期に開いたりして、個別の支援を考える。困り感に寄り添い、個に応じた支援を実行する際に、保護者とともに特別支援学級入級や通級指導教室通級についても協議する。関係機関との十分な連携も行う。

・個別に支援を要する児童について、長期的な計画として「個別の教育支援計画」、本年度の困り感に寄り添った記録として「個別の指導計画」を作成する。担任や学校生活支援員が配慮を行っている状況をレベル1～4で表し、学校全体で共通確認して支援に生かす。

(4)人権・同和教育の充実

・全学年において人権学習を計画・実施する。教育委員会作成の資料に取り組むようにする。

・子どもたちの善行や努力を認める「名人の木」の活動を通して、自己肯定感を高める。

・「月のこころ」「Q-Uテスト」等の諸調査を実施し、一人一人の想いや願いを把握して学級経営に生かす。

・平和集会や人権集会を計画・実施し、子どもたちが自ら考え、行動できる活動を工夫・創造する。

・研修を充実させるため、人権・同和教育の全体研修を計画・実施し、校外においても一人一研修に取り組む。